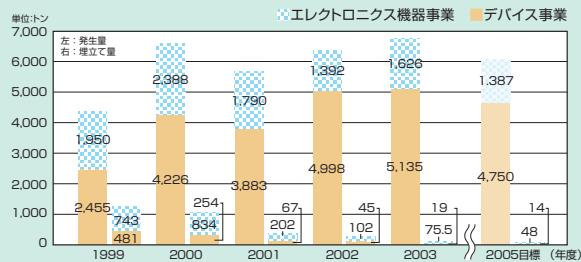


環境パフォーマンスデータ

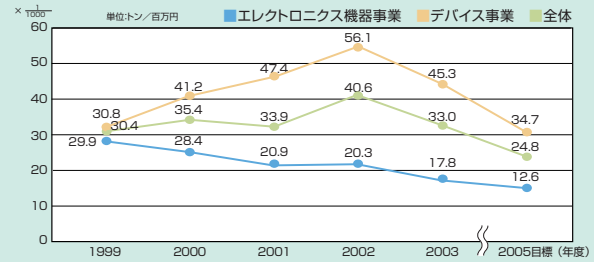
廃棄物やCO₂の排出量、水資源の使用量をはじめ、
PRTR法に基づく化学物質の排出量・移動量を掲載しています。

■ 廃棄物発生・埋立量の推移

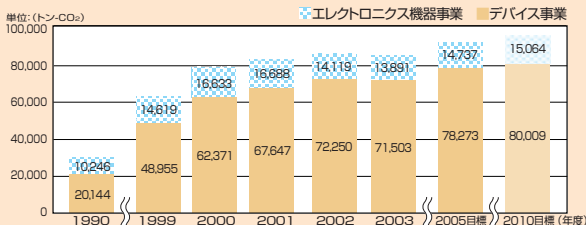


生産に伴い廃棄物発生量は増加傾向にあります。部品・補材・薬液を供給いただく各業者の協力により、ボリタック、輸送材のリユースやデバイス製品で使用する薬液のリユースを推進し、2003年度は前年度比20%削減しました。今後は、2005年度廃棄物発生量を生産高原単位で30%削減(2000年度比)目標に向かって全社で取り組んでいきます。また、ゼロエミッションに向けての取り組みでは、2003年度は本社、山形カシオ、高知カシオが達成し、これで計7事業所が達成しました。今後は、未達成の事業所における課題抽出・分析を行い、目標達成に向けた活動を展開していきます。

■ 廃棄物発生量原単位の推移

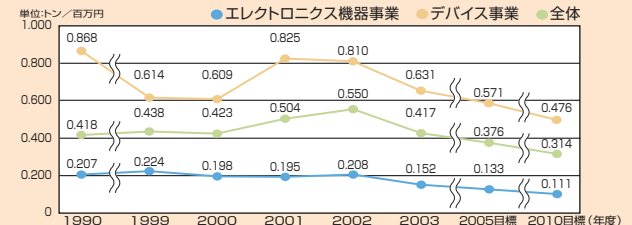


■ CO₂排出量の推移

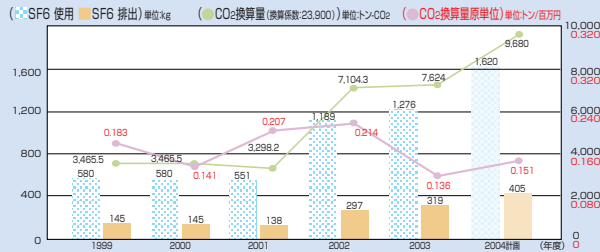


1990年以降、固定(24時間常時動作する、クリーンルーム、純水・排水装置等)のエネルギーを多用するデバイス事業の伸びに伴い、CO₂発生量は増加傾向にあります。また、過去4年はさらなるデバイス工場の増築、およびその試運転・調整に伴うエネルギー使用によりCO₂発生量は増加していますが、省エネ設計・施工された高知カシオ、山形カシオのコジェネ導入、その他高効率機器の導入による削減効果により、生産高原単位において前年比24%改善されました。また、2005年度生産高原単位10%削減(1990年度比)目標達成に向けて全社的な「事業所環境自己監査」制度を導入し、より良い環境施策を推進していきます。

■ CO₂排出量原単位の推移

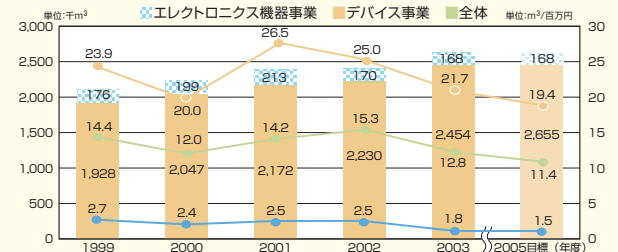


■ 温室効果ガスSF₆ 使用・排出とCO₂換算量・換算量原単位



TFT生産工程においてSF₆の使用量は生産量の増加に比例して増加します。そのため、2001年度から2003年度までは、生産量の増加に伴って使用・排出量は増加しています。現在、SF₆の排出量を減らすために分解処理を可能にする装置の導入を検討しています。また、CO₂換算量原単位で見ると、2003年度は前年度に比べて36%改善しています。これはTFTパネルの単価下落はあるものの、分母となる生産高が増大しているためです。

■ 水資源使用量の推移



デバイス事業の洗浄工程では純水を多用するため、事業拡大に伴い水使用量は増加していますが、排水循環システム等の採用により削減に努めています。その結果、全体では169.1千m³が循環使用されました。生産高原単位で見ると、2003年度は前年比16%改善されており、今後はさらに使用量最適管理の徹底、水使用削減設備導入などの削減対策を推進し、2005年度までに水使用量を生産高原単位5%削減(2000年度比)目標達成に向けての施策を実施します。

■ PRTR法に基づく排出・移動量

(単位:トン)

第一種 指定 化学物質名	物質 番号	2002年度							2003年度						
		1トン以上 使用事業 所数	取引量	排出量		移動量	消費量	リサイクル 量	1トン以上 使用事業 所数	取引量	排出量		移動量	消費量	リサイクル 量
				大気	公共用 水域						大気	公共用 水域			
アンチモンおよびその化合物	25	1	2.25				2.03	0.22	2003年度 使用素材を見直し1トン以下となりました						
エチルベンゼン	40	1	13.23			13.23			1	11.71	3.55		8.16		
エチレンジクロール	43	1	1.98			1.98			2003年度 使用薬品を見直し1トン以下となりました						
キシレン	63	1	47.07	23.04		24.03			1	49.25	24.13		25.12		
オクチルフェニルエーテル	308	1	2002年度は使用されていません							1	1.18				1.18
酢酸2-エトキシエチル	101	2	16.00	5.02		6.38		4.60	3	16.99	6.87		10.12		
チオ尿素	181	2	12.22			12.22			1	15.36			15.36		
銅水溶性塩	207	2	17.41		0.03	14.48		2.90	1	16.89	0.00	0.04	16.85		
トルエン	227	1	2.73	2.72		0.01			1	1.47	1.47				
鉛およびその化合物	230	1	2.49			0.00	2.31	0.17	2003年度 鉛フリーの増加により1トン以下となりました						
ふっ化水素およびその水溶性塩	283	1	11.17	0.06	1.90			9.22	1	13.30	0.07	2.59			10.62
2-アミノエタノール	16	1	32.92	0.08	0.03			32.80	1	29.83	0.03	0.03			29.77
合 計			159.47	30.92	1.96	72.33	4.35	49.91		155.96	36.12	26.7	75.61		41.57

枠線で囲んだ部分については、法令に基づく届け出を行った確定値です。2003年度の報告書記載値を訂正させていただきます。

※1,1-ジクロロ-1-フルオロエタン(別名 HCFC-141b)については、グループ会社では使用を廃止しました。※特定第一種指定化学物質は、使用されていません。※空欄:取り扱い量がゼロを示す。